

令和 7 年 1 月 定例教育委員会 会議録

◇開 会 令和 7 年 1 月 2 3 日（木） 午前 1 0 時 0 0 分
 ◇閉 会 令和 7 年 1 月 2 3 日（木） 午前 1 0 時 5 5 分
 ◇会 場 植野記念美術館研修室
 ◇出席者 教育委員会

・教育長	片 山 則 昭
・教育長職務代理者	吉 竹 主 税
・教育委員	上 羽 裕 樹
・教育委員	中 川 卯 衣
・教育委員	渕 上 智 帆
・教育部長	足 立 勲
・教育部次長兼学校教育課長	山 本 浩 史
・学校教育課参事	小 森 真 一
・教育総務課長	足 立 安 司
・社会教育・文化財課長兼文化財係長	小 畠 崇 史
・恐竜課長	松 枝 満
・教育総務課副課長兼企画総務係長	足 立 真 澄
まちづくり部	
・まちづくり部長	谷 水 仁
・文化・スポーツ課長	木 村 成 志
・人権啓発センター所長	堂 本 祥 子
・市民活動課長	山 内 邦 彦

(片山教育長)

1 月の定例教育委員会を開催いたします。
 会の進行上、発言の際には必ず氏名を名のってから発言していただきますよう、お願いいたします。

日程第 1

前回会議録の承認

(片山教育長)

日程第 1 前回会議録の承認についてですが、1 2 月 2 6 日の定例教育委員会会議録の承認は、上羽委員と中川委員にお願いいたしました。

日程第 2

会議録署名委員の指名

(片山教育長)

日程第 2 会議録署名委員の指名についてですが、本日の会議録の署名は吉竹教育長職務代理者と渕上委員にお願いいたします。

日程第 3

教育長報告

(片山教育長)

日程第 3 教育長報告に入ります。
 1 2 月 2 6 日定例教育委員会。同じ日に「トライやる・ウィーク」の推進協議会。夜に丹波市少年少女合唱団第 4 7 回定期演奏会がライブピアいちじまでありましたので行かせていただきました。
 2 7 日、令和 6 年度教育委員会の仕事納め式、その後、丹波市の仕事納め式がありました。
 2 日、令和 7 年美和地区新年祝賀会に参加させていただきました。
 6 日、仕事始め式。同じく市と教育委員会とごまいして、市長、副市長と各支庁を回らせていただきました。
 7 日、政策会議。第 7 期学校整備計画についてご意見をいただきました。それから 3 月議会の日程報告もありました。

8日はそれを受けまして、教育部の管理職会議を行いました。それぞれ各課から報告いただいたり政策会議の報告をしたりしました。その中で、今、検討中ですが、市島町戸平への通学支援の方法、部活動の地域展開についてアンケート調査などについて話し合いました。

9日、第9回小・中学校長会、10日、議会の本会議、11日土曜日、丹波青年会議所の1月の新年会がございました。

12日、450人から60人の参加があったと聞いたのですが、令和7年丹波市二十歳のつどいが行われました。7人ほどのメンバーが中心になって楽しくも、また儀式的にもすばらしい二十歳のつどいをやっていただきまして、感動的な部分もあったりして、粛々と行われて大変よかったなと思います。来ておられる方も、久しぶりに出会った方ばかりですので、和気あいあいとした中で行われたと思います。

14日、15日は本会議がございました。夜ですが、令和6年度第2回学校給食運営協議会が行われました。

16日から、希望者だけですが、来年度に向けての校長面談を始めております。

それから、オンラインだったのですが、全国の市町村の教育委員会研究協議会がございまして、各地の教育長と教育委員が参加し、私の部会是不登校のことと、地域協働活動のコミスクの話だとか、2回に分けてやりました。不登校のことも第三の居場所とかいろいろとやっていますが、なかなか効果的なものがないということをおっしゃっていました。それから、コミスクのほうもそれぞれ地域によって特徴があったのですが、学校と地域とがどう一体になっていくかということと、継続してどうやっていくかということがなかなか難しいと。その中で、中心になってやる人がいるときにはすっとうまくいくのだけれど、いなくなったら尻すぼみになるようなこと、そんな話が出ていました。

17日、丹波市商工会の新春交流会がありましてたくさんの方が来ておられました。同じ日に新規教職員の採用面接がありました。

18日、土曜日でしたが、今日、この後に見ていただきますけれど、丹波の南画家安田家三代の系譜開幕記念イベントがございましてたくさん来ておられました。

20日、新規教職員の採用面接がございました。2回に分けてやりました。

21日、校長面談。それから株式会社エピックドリームが来られ、これは3月22日に文化・スポーツ課で、バスケットボールの、昔はスリー・オン・スリーと言っていたものですが、スリー・エックス・スリーの大会をゆめタウンの駐車場でチームを募ってやりたいということで、参加できるチームだとか、スポンサーが誰かおられたらということでお願いに来られました。雨が降ったら柏原住民センターで行うという話でした。

22日、昨日ですが、朝早く出て夜遅く帰ってきたのですが、東京でB&Gの全国サミットが行われまして、丹波市の場合は山南に体育館があります。

23日、定例教育委員会、今日は移動教育委員会ということでこの植野記念美術館で行っております。この後昼から校長面談、明日も校長面談があります。

27日、人事評価委員会は、出席者の関係で24日に変更になりました。同じ日に校長面談がございます。

30日、毎月行っている兵庫パルプ工業株式会社情報交換会の予定となっております。

教育長報告については以上でございます。何か質問はございませんか。
ないようでしたら教育長報告を終わります。

日程第 4

協議事項

(1) 令和 7 年度丹波市の教育（実施計画）案について

(片山教育長)

日程第 4 協議事項に入ります。

(1) 令和 7 年度丹波市の教育（実施計画）案について、事務局より説明をお願いします。

(足立教育総務課長)

それでは丹波市の教育（実施計画）案について、ご説明を申し上げます。資料は別冊となっております。

令和 7 年度丹波市の教育（実施計画）につきましては、先月の定例教育委員会で協議をいただいたところでございます。その意見を基に実施計画案を今回、修正しております。その修正箇所についてご説明をさせていただきます。

まず、2 ページをご覧ください。2 ページ以降の様式について、参考指標の見せ方を変更しております。前はそれぞれの基本施策ごとに参考指標を記載しておりましたが、この指標につきましては社会の変化に応じた施策展開とするため、適切な評価ができるよう必要に応じて見直す場合があります。また、複数の取組による指標を設定していることから、施策で同じ指標を掲載しているということもあり重複して見えてしまう点がありましたので、集約して 20 ページに記載をすることとしました。その参考指標についても複数ご意見をいただいておりますので、ご意見いただいたものについては赤字にしておりますが、ご覧のとおり修正をかけております。

次に 8 ページをご覧ください。前回の計画では、4-2 主な取組のところで、スポーツ大会や研修会の開催、という部分と、4-3 スポーツで支えあうまちに向けた取組の推進のところで、誤りがありましたので今回削除をしております。そして 4-2 の学校・家庭・地域の連携による健康課題の解決のところに各調査等から児童生徒の課題を分析し、児童生徒及び保護者への周知・啓発により生活習慣の改善を図るとして、基本的生活習慣の確立を追加しております。

8 ページの最下段になります、赤字にしているところですが、前回ここは「こどもたち」としていたものを、ご意見をいただいたとおり具体的に「中学生」と修正をしております。

11 ページをご覧ください。青少年健全育成の実施の目的です、これについて修正をかけております。前回より詳細になるように文言を修正したところでございます。

以上で説明とさせていただきます。

(片山教育長)

はい、それでは令和 7 年度丹波市の教育（実施計画）案につきまして協議を行います。ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。

(淵上教育委員)

8 ページの 4-3 で削除されたところの説明が分かりづらかったので、もう一度説明いただけたらうれしいのですが。

(山本教育部次長兼学校教育課長)

4-3 スポーツで支えあうまちに向けた取組の推進が学校教育課担当になっていて、関係団体と連携深め、気軽にスポーツをすることができる環境を整えるために求められる情報の発信に努めるとなっていたのですが、先ほど教育総務課長から、誤りであったので削除させていただきましたという説明をさせていただいたのですが、前回提案をさせてもらったときに前の何かが残っていたということで、学校教育課でやるような内容ではないことから削除させていただいたということです。

(片山教育長)

よろしいでしょうか。ほかはございませんか。

(中川教育委員)

20ページに参考指標一覧という形で、関連テーマごとにシンプルにまとめられていて、とても分かりやすく見やすく、ほかの前のページも見やすくなっていてとてもいいと思います。

(片山教育長)

ご意見ありがとうございます。ほかはございませんか。

それでは、以上で(1)令和7年度丹波市の教育(実施計画)案について終わります。

日程第5

議事

議案第1号 丹波市教育委員会後援名義の使用承認について

(片山教育長)

日程第5 議事に入ります。

議案第1号 丹波市教育委員会後援名義の使用承認について事務局より説明をお願いいたします。

(足立教育総務課長)

それでは議案第1号 丹波市教育委員会後援名義の使用承認についてのご提案を申し上げます。

今回の審議案件は1件でございます。資料3ページからになりますが、mimosaprojectが主催されます丹波MIMOSA FESTA2025です。実施日は令和7年3月22日土曜日、実施場所は丹波の森公苑です。4ページは要領、5ページは会則、6ページは団体の構成又は個人の活動実績、7ページが収支の計画書になっております。

丹波市教育委員会後援等名義使用許可に関する要綱第3条の許可条件に適合しており、かつ、要綱第4条の許可の制限に該当していないことから、許可決定が妥当と判断しております。

以上で丹波市教育委員会後援名義の使用承認についての提案説明とさせていただきます。

(片山教育長)

それでは何かご意見、ご質問はございませんか。

ないようですので、議案第1号 丹波市教育委員会後援名義の使用承認について採決いたします。同意される委員の挙手を求めます。

(賛成者 全員)

(片山教育長)

全員の挙手を取ります。よって議案第1号 丹波市教育委員会後援名義の使用承認について承認いたします。

日程第6

報告事項

(片山教育長)

続きまして日程第6、報告事項に入ります。

(1) 行事共催・後援等報告についてお願いいたします。

(足立教育総務課長)

行事共催・後援等の報告につきましては、資料8ページに記載しておりますとおり、丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんば2025をはじめ、全部で3件でございます。今回の報告につきましては、全てが後援依頼となっております。それぞれ丹波市教育委員会後援等名義使用許可に関する要綱に基づき、許可条件に適合し特に問題がないことと、公的又は恒例の行事であるため専決処分により許可をしたもので報告をさせていただきます。

(片山教育長)

ありがとうございます。それでは、ただいまの報告につきまして、何か質問はございませんか。

質問がなければ、行事共催・後援等報告を終わります。

続きまして、(2) 令和7年度教育委員長関連当初予算、主な要求事項についてお願いいたします。

(足立教育部長)

それでは、令和7年度教育委員会関連当初予算の主な要求事項について資料を基にご説明をさせていただきます。

たくさん書いてありますが、予算として大きな特徴のある部分を抜粋しての説明となりますのでご了承いただきたいと思います。

まず、冒頭でございますが、来年度から第3次丹波市教育振興基本計画の初年度ということで、基本理念を「人を愛し、ふるさとを想い、しあわせのカタチを創造できる 人づくり」、これをめざして、その初年度としてこどもの声を聴きその声を尊重しながら、基本施策に基づいた事業を展開してまいります。

今回の説明資料につきましては、昨年、この当初予算を編成するに当たって市長に対して説明をした資料となっておりますので、若干名称等が異なっている部分もございますがご了解いただきたいと思います。

施策体系につきましては、教育振興基本計画の基本施策の体系を基にそこに事業を掲載しております。

まず、1 一人ひとりを大切にしたいきめ細やかな学校教育の推進の一つ目、特別支援教育の充実を図るため、教育支援センターに医師・作業療法士・言語聴覚士を新たに配置、臨床心理士・指導主事を増員していく、ということで、特別支援教育の専門家チームを新たに設けて、学校を巡回して特別支援教育の充実を図っていくということで、これは新規事業として取り組んでまいります。

それから、本年度から行っておりますが、二つ目、校内サポートルーム、校内教育支援センターという言い方もしていますが、不登校支援として支援員を継続して配置してまいります。また、教育支援センターに本年度から学生サポータを配置しておりますが、これを拡充配置といいますか、活動の機会を拡充するという意味も含めて拡充配置ということで取り組んでまいります。

2 次世代を生きぬく学力を育成する教育の推進につきましては、二つ目、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実を推進するとともに、情報活用能力をさらに育成するため、第2期GIGAスクール構想の一環として、児童生徒用の端末を更新します。これにつきましては、今年度から既に取り組んでおりまして、予算としては来年度、5, 100台あまりの児童生徒用の端末の更新をしてまいりますということでございます。

3につきましては省略をさせていただきます。

4 健やかな体の育成とスポーツライフの充実というところでは、一つ目で、部活動の地域移行、今は地域展開と呼んでおりますが、その取組の一環として地域クラブに対して大会参加費等の補助金を新設して、部活動の地域展開を促進していくという取組を始めます。また、その二つ目には、部活動指導員を増員配置していくということで、令和6年度は10人配置しておりますが、来年度は11人拡充をしていきたいと考えております。

5 乳幼児期の教育・保育の推進のところでは、認定こども園に対する支援でございますが、二つ目のところで、各園2回ずつの保育実践コーディネーターによる巡回支援を行いますとしています。また大きな組織改編がございまして、来年度から認定こども園については教育委員会が所管するというので、内容の充実とともに運営支援についても一体的に教育委員会で行っていくということが大きなところですが、その予算については、今回は触

れていません。

6 共に学び、成果をいかせる社会教育の推進のところでは、二つ目、令和8年度に「たんばふるさと学」を地域学校協働活動に移行していきたいと考えております。そのスムーズな事業開始を行うために地域学校協働活動の推進ガイドブックを作成していくという取組を行います。

7 地域の教育資源をいかした学びの推進のところでは、二つ目、今年の7月に、丹波竜化石工房を、まだ現在は仮称ですが「丹波市立恐竜博物館」に改称してリニューアルオープンを行います。現在、本年度から令和7年度にかけて工事を行っている最中でございます。また、あわせて入館料につきましてもリニューアル後改定をしていくことで調整をしております。現在7月12日のオープンで調整を行っているところでございます。

8 親しみを感じる図書館づくりにつきましては、二つ目、電子図書を1人1台端末でも活用できるようにしておりますが、その学校利用向けコンテンツを今年度、金額的にいったら今年度の約1.5倍程度に増やしていきたいということで、こどもの読書活動の推進を図ってまいります。

9 こどもたちの学びの環境を支える学習環境の整備・充実でございますが、一つ目、中学校の学校給食費の無償化を実施します。あわせて小学校の就学援助世帯の学校給食費を無償化していく方向で調整をしております。これは先ほど教育長報告にもありましたが、1月15日の学校給食運営協議会の中でもその委員の意見を聞いて、おおむね了解という意見をいただいております。

それから、二つ目、第7次学校施設整備計画、来月の定例教育委員会でご審議いただくことになっておりますが、並行して学校施設整備を行っていく計画ですけれども、これに基づいて中学校の体育館の空調整備、そして小学校統合による校舎等の改修、そして小学校の特別教室の空調設備設置の実施設計を行ってまいります。また、その三つ目、令和7年度からの3年間で学校図書館をこどもたちの居場所としてより魅力あるものにするために、来年度は6校の学校図書館について充実を図っていく、こどもたちの意見を聞いたり地域の意見を聞いたりしながらそれぞれ特色ある取組を学校単位で取り組んでまいります。1校当たり300万円ぐらいの予算をかけて充実を図ってまいります。四つ目、高校魅力化事業。令和5年度から取り組んでおりますが、来年度は氷上高校で取り組むことによって、市内3校とも魅力化事業がスタートするということですが、氷上高校につきましては生徒が栽培した野菜を使用した弁当メニューの開発、あるいは販促活動等に取り組むことによって魅力化事業として実施をしてまいりたいということで、現在調整中でございます。

10 教育委員会機能の充実については記載のとおりでございます。

以上で教育部の来年度の予算の主な取組ということでございます。

(谷水まちづくり部長)

令和7年度まちづくり部の部局方針についてご説明をさせていただきます。

まちづくり部では、市民一人ひとりが主役となり、多様な個性が創る生涯学習のまちを目指して生涯学習、スポーツ、芸術・文化活動、人権施策の推進などあらゆる生涯学習活動で培われる『知識や経験』を持続可能な暮らしやすい地域づくりに生かせるよう、大きく7つのテーマに分類をし、施策を進めるもので、テーマごとの概要についてご説明をさせていただきます。

まず、1 さらなる女性活躍の推進ということで、女性の自己実現や女性団体の活躍を支援する補助金の新設を行います。

2 地域による脱炭素に向けた取組の支援ということで、自治会の公民館と自治協議会の拠点施設の補助金を拡充しまして、太陽光システム等の設置に対して支援をするものです。

3 市民参画による協働のまちづくりの推進につきましては、多文化共生

推進基本方針ができる予定でありますので、地域おこし協力隊を活用してさらなる推進に努めていくというところでございます。

また、(4) 市民団体と協働による全国高等学校女子硬式野球選手権大会ですが、令和6年度は61校で過去最多でしたが、令和7年度にはさらに数校増えるということをお聞きしております。

4 持続可能な自治協議会等の運営支援による地域力の向上につきましては、継続事業としまして3点上げさせていただいております。

5 生涯学習の成果を活かした人づくり、地域づくり、つながりづくりの項目につきましては、まず、新規事業としてライフピアいちじま大ホールに設置している大型プロジェクター2台の更新、そしてホール設備の充実と市民の文化芸術活動の活性化に向けた環境整備に取り組むこととしております。また、継続事業としてこどもから高齢者に至る幅広い年代を対象とした芸術・文化及びスポーツ活動の充実、各種イベントや講座の実施、人材育成、そして丹波布の伝承や体験、また、拠点となる生涯学習施設の管理運営など(1)から(8)に挙げる事業をそれぞれ継続実施することとさせていただいております。

6 幸せに暮らせる社会の実現を目指した人権教育・啓発の推進では、(1)から(3)までの事業を継続事業として実施をさせていただきます。

7 市民の生涯学習を支える「生涯学習施設の整備」、こちらにつきましては、(1) スポーツピアいちじま児童公園の遊具設置工事としまして、現存のジャングルジムについては点検の結果、使用に耐えないという結果が出ましたので撤去しまして、新たに令和7年度に遊具を三つ設置します。3歳から6歳児、そして6歳から12歳児を対象としたインクルーシブ遊具を各一つずつ、そしてインクルーシブ遊具のブランコを一つ、合計三つを設置して公園機能の充実を図ります。

次に、漢方の里総合運動公園、(2)、(3) 番に連動しますが、まず、体育館と屋内遊戯施設、テニスコート、こちらが来年度中にまず部分供用開始をして、令和8年の4月に総合的なグラウンドオープンを目指して段階的な準備を進めるということで考えております。

また、15ページの(2) 市島複合施設建築工事。これにつきましては令和8年度の改修に向けて今、備品購入、工事等について協議を進めている段階となっております。

以上です。

(片山教育長)

それでは、令和7年度教育委員会関連当初予算 主な要求事項について説明していただきました。まずは前半の教育部からご質問等ありましたら受けたいと思います。

(中川教育委員)

10ページの9、こどもたちの学びの環境を支えるという部分で、学校図書館を充実させることについてもう少し詳しくお伺いしたいのですが、こどもと大人が一緒になってという大人は、学校の先生じゃなくて地域の人ということでしょうか。それと、イメージとしては居場所だから、図書館という空間、エリアはもう決まっているけど、そこにソファみたいなものを置いて横になって本をごろごろ読めるみたいなイメージだとしたら、蔵書数が減ってしまう心配があるのではないかと思ったのですが、どういうイメージなのかというのを伺いたいのと、あともう一つ、氷上高校魅力化事業は、私のイメージでは教育委員会は市立の小学校と中学校を支えるところで県立高校にはあまり関わりがなかったのではないかと感じていたのですが、どういう感じで関わっていくのかをお伺いしたいです。

(山本教育部次長兼学校教育課長)

私からこどもたちの居場所として学校図書館のことについてお話しさせ

ていただきたいと思います。先ほど、部長からもありましたように、1校当たり300万で、この補てん案を一つは大切にしようということで、こどもの意見を聞く、どんな学校図書館だったらもっと行きやすいとか、どんな学校図書館にしたいというような話をまず中心に、その意見を吸い上げることが一つ、大人は、学校運営協議会を中心として地域の方、それから学校の職員、それから公立図書館の方にも入ってもらおうかなと思っていて、こどもの意見を吸い上げる中で、なおかつその地域住民にとってもよりどころになるような場所にならないかなということも含めながら図書館整備をするということです。その中で、別に学校図書館の環境が全ての学校が同じでなくてもいいと思っていて、先ほど中川委員が言われたようにソファがあるような学校図書館がいいとか、フリースペースがあるような、寝転んで読めるようなところがいいとか、逆にカフェのように窓際にテーブルがあるようなものもいいとかいろいろな環境面のこと、それから例えば壁紙の色がもっとこんなふうがいいとかいうような環境面のことプラス、貸出しのシステムを、これを機会に一つはデジタル化して、バーコードで貸出しをしていただくようにと、そうすると入力作業とかバーコードをつける作業とかも必要です。そういうことをやるならば、そこに地域ボランティアの方に謝金を払ってもいいなど。いろいろなことをああだこうだ言いながらつくり上げていってほしいなという形になっています。どんなふうに展開していくか分からないので進捗をこちらで見ながらですけど、基本的には地域の方と学校の職員と子どもたちが話し合っ、持続可能で自分たちが過ごしやすい図書館をつかってほしいという願いを込めています。それを次年度、次の年に10校、今年9校、全ての学校でしていこうと考えています。

(片山教育長)

蔵書が減らないかということについてはどうでしょうか。

(山本教育部次長兼学校教育課長)

蔵書数は減ることはないですが、逆に増やし過ぎることもないように考えています。この300万のうち、ほとんどのお金で本を買ってしまうということがないように制限をかけようと、今こちらで、1割程度、30万ぐらいまでだったら図書に使っていいよという形にしようと思っています。ですので、蔵書数が減ることは今のところ考えていなくて、その分が増えると思っています。

(中川教育委員)

空間を広げるために本棚を1個減らさないとしようがないねとかなって、そのために蔵書が減っちゃったりしないのかなと。

(山本教育部次長兼学校教育課長)

閉架図書の倉庫があって、こどものニーズによって入れ替えたりもしているので、そういう点については大丈夫だと思います。バーコードシステムができることによってタブレットでこどもが欲しいものを検索できたりもしますので、となると後ろの閉架図書から出してくることも可能になりますので、その辺は大丈夫だと考えています。

(片山教育長)

もう1点、氷上高校魅力化事業について、お願いします。

(足立教育総務課長)

高校への支援につきましては、県の高校再編の関係もありまして、現在、他の地域でも高校が再編されたり統合されたりということがあってと思います。丹波市におきましては地域的な要件もありますし、中学生がいろいろな高校を選択できるということも含めて3校を何とか維持したいと思っています。その3校を維持するためにはやはり定員を割ることがないように、何とか高校のさらなる魅力化、今も魅力ある学校なんですけれども、さらなる魅力化を図り、定員を満たすことによって統合ということではなくて、丹

波市の中学生在それぞれの学校を選択できるようにそのまま継続して、高校を維持するということで教育委員会が支援をしていく状況でございます。その支援につきましては、それぞれ推進協議会を立ち上げていただいて、そこに補助金を出していくという状況でございます。

(片山教育長)

よろしいですか。ほかはございませんか。

(吉竹教育長職務代理者)

何点かお尋ねをしたいと思います。

まず1点目は、先ほどの学校図書館について説明を伺ったのですが、ちょっと最終のイメージが湧きにくいのですけれども、最終的には学校図書館を地域の方も利用するというのでしょうか。学校図書館なので子どもたちが、生徒が活用しやすい又は行きやすい、行ってみたいなという図書館にしていくな。それプラス地域の大人の人も行きやすいというか、そこでいろいろなことをしたいという説明だったのじゃないかなと思いますけれども、そうすると学校の図書館に地域の方が出入りをしていると。出入りをされてもいいと思いますが、活用ということになったら学校図書館ではなくて、旧町にある図書館をそういう形にしていくなというのが基本的な流れじゃないかなと思います。ちょっとその辺りのイメージができないのが1点。

それから2点目ですが、学校給食費のことについてお尋ねしたいと思います。これは確認ですが、中学校の生徒さんが無料になって、小学校の取扱いについても変わるという説明でしたけれども、県立校の氷上特別支援学校の中学部あるいは小学部の子について、給食費の改訂の対象になるのかならないのかが分らなかったもので、前にも県立の教職員の分が抜けているのではないかという話が出たと思いますが、その辺りのところを確認したいと思います。

それから3点目ですが、8番の項目で、これはどういうことかなというのですけれども、丹波市立図書館のあり方を基底に据えたということで、仮で丹波市立図書館基本計画（丹波市子ども読書活動推進計画）となっておりますけれども、これは基本計画と推進計画は同じものなのか、言葉で捉えると全く内容が別のような計画になっているのですけれども、それを括弧書きで書かれておれば内容的には同じことかなと、どうなのかなという、この点についてお尋ねをしたいと思います。

(山本教育部次長兼学校教育課長)

私からは先ほどの学校図書館の件について、地域の方が学校図書館を利用することがマストではないと。ただ、地域の方と子どもたちが学校の先生と話をする中で、地域の方が利用してもいいようにしようかという話が出てきたらそれもオーケーという形を取ろうと思っています。既に地域の方に学校図書館を開放している地域が、協働活動とかコミュニティスクールの取組の中で開放している学校もありますので、そのほうが地域にとっても学校にとってもいいよという形になればそうしてもいいという形に持っていくなと思っています。その辺は協議の内容によってと考えております。

(足立教育総務課長)

学校給食でございます。今回、中学校の生徒の無償化と小学校児童の準要保護世帯の無償化ということで、氷上特支でございますが、氷上特支の生徒につきましても同じように無償化をするということでございます。

(小畠社会教育・文化財課長兼文化財係長)

3点目、項目で言いますと10ページ8番のところに記載をしております、本年度策定の丹波市立図書館のあり方を基底に据えたということでございますが、今年度、丹波市立図書館のあり方の見直しを図っております。次の教育委員会でご提示をさせていただきたいと思っておりますが、図書館のあり方、方向性を示した図書館ビジョンというものを今年度策定しようとして

います。それに基づいて来年度、丹波市の子ども読書活動推進計画、これは今、第3次になっておりますが、第4次の改訂の年度がちょうど来年度に当たることになっておりまして、図書館のあり方、ビジョンを基底に据えた子ども読書活動推進計画の見直しを来年度行っていくという方向性で書かせていただいています。ただ、国の方針によりますと、その他の計画の中で子ども読書活動推進計画、これは法定で定められた必ずつくらなければならない計画ではないのですけれども、各市町でこのような努力義務がされておりまして、ほかの基本計画の中でこの子ども読書活動推進活動について記載をすればそれを含めることができるという国の方針がございます。丹波市においては子ども読書活動推進計画だけではなくて、大人も子どもも全ての人が図書館を利用してほしいですし、子ども読書活動のことも含めた図書館基本計画を来年度策定したいという思いからこのような書き方をさせていただいております。

(片山教育長)

よろしいでしょうか。ほか、ございませんか。

(上羽教育委員)

高校魅力化事業についてお尋ねしたいのですが、これは氷上西校だったらeスポーツですよね。柏原高校とか氷上西校が取り組んだ後の実績がどうなっているのかなという部分と、交付金ですが、3校に1回ずつの交付金なのか、計画して毎年3校に足していっているのかお聞きしたいと思います。

(足立教育総務課長)

高校魅力化事業でございますが、交付は1回だけなのかということにつきましては、継続して交付している事業でございます。氷上西校が今年度で2年目になっております。eスポーツ部ということですが、部員もたくさん、1学年に6人程度ずつ来られて活動をされております。去年ですと、今言われたような地域のイベントに参加したり、大会は、今年度はまだ出場できていないですけれども、一昨年ですとeスポーツの大会に出たりという状況でございます。クラブとしての実績はそうだけれども、いわゆる定員を満たしたかどうかという意味での実績ですと、昨年度といいますか令和6年度の試験の状況では定員を満たしたという状況で、その中にはeスポーツ部に入りたいという方もおられたということで、一定の成果はあったのかなと思っております。

柏原高校につきましては、昨年の8月にスタートしまして、ロジカルシンキングの講座であったりそういったものが令和6年度から始まったというところで、定員の実績はこれからということになりますけれども、そういった事業を進めていたり、阪大生との交流事業をやったりということで少しずつ事業を進めている状況でございます。

(片山教育長)

高校魅力化ということで、今日の新聞に丹波篠山市の状況が載っていたと思いますが、今、丹波篠山も3校あるのですが、2校を1校にすると。それで、丹波篠山市長が県の教育長に鳳鳴高校は残してほしいと要望書を持って行ったと書いてありました。県下的にそういうことなので、やはり定員割れを起こし始めるとそういう状況になりかねない。丹波市民の方、中学生の方にいろいろと話を聞くと、やはり3校は残してほしいという思いが強いので、それぞれの学校の特徴に応じた魅力化をやっていこうとしています。

柏原高校は新しい学科もつくってやっていますけれど、そういうところから、例えば国公立に何人行くとかいろいろなことが、具体的に言うとか関係してくるのかなと思います。

氷上高校の場合は、高校は給食がないので、お弁当の話を、うまく農作物等とマッチングさせていければいいと考えています。また、学校の魅力化につながるのではないかと思います。結果としてデータはまだこれからなので

どうなるか分かりませんが、そういったところを協議会で話し合いながら魅力が出るような形で進めていきたいということです、ご理解いただけたらありがたいと思います。

ほか、ございませんか。ないようでしたら、まちづくり部の説明で何かご質問はございませんか。よろしいですか。

それでは、質問がないようでしたら、令和7年度教育委員会関連当初予算主な要求事項について終わります。

日程第7

その他

(片山教育長)

日程第7 その他に入ります。その他、各課から連絡事項ありませんか。委員から何かご質問はございませんか。なければその他の項目を終わります。

日程第8

次回定例教育委員会の開催日程

(片山教育長)

日程第8 次回定例教育委員会の開催日程について、事務局から説明をお願いいたします。

(足立教育総務課長)

次回の定例教育委員会は2月20日木曜日、午前9時からの開催でお諮りします。会場につきましては、山南住民センター2階集会室で開催したいと考えております。

(片山教育長)

各委員さんのご都合はいかがでしょうか。

それでは、2月の定例教育委員会の日程は2月20日木曜日、午前9時から山南住民センター2階集会室で開催いたします。

以上をもちまして、全日程が終了いたしましたので、本日の定例教育委員会を閉会いたします。